

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 26 日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県三豊市豊中町本山乙703番地

氏 名 ちぬや冷食株式会社

代表取締役 今津秀

電話番号 0875-62-5561



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ちぬや冷食株式会社
事業場の所在地	三豊市豊中町本山乙703番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	資本金 3000万円 売上高 345億円
③ 従業員数	515人

④ 産業廃棄物の
一連の処理の工
程

工場 ⇒ 中間処理業者 ⇒ 処分業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 工場長 ⇒ 製造部生産管理課 ⇒ 製造部工務課	
---	--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
①現状	【前年度(令和6年度)実績】 単位:t																
	<table border="1"><thead><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>汚泥</th><th>動植物性残さ</th><th>廃プラスチック類</th><th>混合廃棄物</th><th>廃酸</th><th></th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>排出量</td><td>1,786.55</td><td>6,063.52</td><td>138.40</td><td>20.04</td><td>0.16</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸			排出量	1,786.55	6,063.52	138.40	20.04	0.16		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸											
	排出量	1,786.55	6,063.52	138.40	20.04	0.16											
(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別強化、より高位の再生利用への変更、食品循環資源の再生利用の推進、脱水汚泥含水率低下。※生産量増加により前年度目標数値より増加。算定に含む範囲追加により、「動植物性残渣」排出量増加。																	
②計画																	
	【目標】 単位:t																
	<table border="1"><thead><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>汚泥</th><th>動植物性残さ</th><th>廃プラスチック類</th><th>混合廃棄物</th><th>廃酸</th><th></th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>排出量</td><td>1,875</td><td>6,350</td><td>145</td><td>21</td><td>0.2</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸			排出量	1,875	6,350	145	21	0.2		
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸												
排出量	1,875	6,350	145	21	0.2												
	(今後実施する予定の取組) 前年度の取組を継続する。生産量の変動によるが、食品リサイクル法における発生源単位を順守し、取り組む。※生産量増加分を見越して数値設定。																

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①動植物性残渣 ②不燃物 ③紙類 ④廃プラ類

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 資源ゴミの分別強化、廃プラスチック類を更に分別し一部油化リサイクル化推進。
-----	--

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度(令和6年度)実績】						単位:t	
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸				
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	(これまでに実施した取組)								
		【目標】						単位:t	
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸				
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	(今後実施する予定の取組)								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(令和6年度)実績】						単位:t	
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸				
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	688.74							
	(これまでに実施した取組) 脱水機による脱水汚泥の含水率の低減。								
		【目標】						単位:t	
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸				
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	690							

	④	(今後実施する予定の取組) 脱水汚泥の低い含水率の維持。
--	---	---------------------------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)								
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸		
	全処理委託量	1,097.81	6,063.52	138.40	20.04	0.16		
	優良認定処理業者への処理委託量	176.01	1,581.19	138.40	20.04	0.16		
	再生利用業者への処理委託量	1,071.94	5,994.14	138.40	6.20			
	認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

(これまでに実施した取組)
基準に従って業者を選定し書面による契約を締結し委託。

(第5面)

【目標】		単位:t					
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃酸		
全処理委託量	1,150	6,350	145	21	0.2		
優良認定処理業者への処理委託量	185	1,660	145	21	0.2		
再生利用業者への処理委託量	1,125	6,300	145	7			
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
②計画							
(今後実施する予定の取組) 委託業者の継続管理。							
※事務処理欄							